

令和7年7月11日

お取引先各位 殿

有限会社 丸松産業

取締役 松崎 一志

最近、モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池の危険性が再び注目されています。特に、韓国のキメ空港で離陸準備中の旅客機が火災に見舞われた事件がありました。この火災は機内の荷物棚から発生し、短時間で天井が焼け落ちる危機的な状況に至りました。幸いにも事故は離陸前だったため、乗客は避難できましたが、飛行中であった場合の危険性は非常に高かったとされています。このような事故の影響で、世界各国ではモバイルバッテリーの機内持ち込みに対する規制が強化されています。



また、一般ごみとして不適切に捨てられたリチウムイオン電池がゴミ収集車や処理施設で火災を引き起こす事例も増えており、過去4年間の被害総額は111億円に達しています。

リチウムイオン電池の便利さと危険性を理解し、正しい取り扱いと廃棄方法を守ることが重要です。



弊社でも、リチウムイオン電池の混入による問題が繰り返し発生しています。

分別作業中に出火したり、分別を見逃した場合にプレスや破碎作業時に火災が
起こる事例が後を絶ちません。

「リチウムイオン電池は非常に燃えやすく、灯油と同じくらいの引火性を持っ
ています。」このため、ゴミを持ち込む際には、リチウムイオン電池が混入し
ないよう、十分に確認していただくようお願い申し上げます。